

公開授業週間（平成29年11月6日（月）～10日（金））の期間中、「研究授業」が実施されました。新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」、新テストを見据えた学力定着のための授業形態・技術を研究し、校内で共有し、今後の授業に活かすことが目的です。保護者の方も来られ、授業を参観されました。

① 芸術科（音楽）

1年生音楽選択生徒を対象にした「ディズニーメドレー」の演奏を通して「リコーダー4重奏を楽しむ」という授業でした。

個人練習から始まり、4人1組のグループ練習へ、そして、最後に代表グループが全員の前で発表という展開です。

親しみやすい曲ではあるが、1年生にとっては難しめの曲ということで、楽しみながらも緊張感を持って取り組んでいました。特に、グループ練習中に、演奏についての改善点を互いに話し合いながら、工夫している姿がとても印象的でした。



② 国語科（現代文）

3年生対象、高井有一の小説「夢の碑」を題材に、明治の終わりと現代の東京の違いを感じながら、主人公の心情を読み取る演習形式の授業でした。生徒が質問しやすい雰囲気の中、生徒に予想を立てさせ、その根拠となる部分がどこにあるのかを検証・解説していく展開です。

単なる演習ではなく、時代背景や他教科で学習した内容との関連性にも触れることで興味を持たせるとともに、卒業を控え今後広い世界に飛び出していく生徒たちが、登場人物のように志を持って生きる姿に共感を覚えるよう工夫がなされた「言葉の力」を意識させる授業でした。



③ 英語科（コミュニケーション英語Ⅰ）

2クラスを3クラスの少人数で展開している「コミュニケーション英語」の授業でした。

開始直後、全員起立しての音読から始まり、ペアで問題を出し合っただけの新出単語の習得チェック、個人ごとに発音練習、アクセントの記入、そして、くじを使っただけの指名、発表…とテンポの良い授業展開で、生徒も熱心に取り組んでいました。

英訳が中心の授業とは異なり、1時間中、英語を使っただけの授業は、新鮮で感動的でした。



④ 保健体育科（保健Ⅰ）

1年次生のHR単位の「保健」の授業で、「交通事故の現状と要因」について考える授業でした。

グループで交通事故死傷者数の増減について理由を考えて数を予測したり、交通事故例を取り上げてその原因についてなるべく多く考えたりして、発表していました。

6人前後のグループ内での話し合いなので、意見を出しやすい雰囲気であり、グループ内で何通りかの意見が出たようで、各グループとも他とは異なる意見を発表できていました。



⑤ 地歴公民科（世界史 B）

2年次生対象、世界史B Iの授業では「イスラーム世界がどのように広がり、発展したのか」を学習しました。

導入部では、生徒も知っている話が含まれる『千夜一夜物語』を取り上げ、興味を持たせています。

展開部のグループ討議では、ホワイトボードを効果的に活用し、討議結果を全体に示して情報共有を行うことで、フリーライダーが出ないよう工夫されているところが印象的でした。



⑥ 数学科（数学 B）

2年次生の文系で数学 B を選択した生徒の授業で、「数列の漸化式をつくろう！」がテーマでした。

「ハノイの塔」問題に教具を通して取り組み、具体的な事象から一般化して考察するという授業展開です。前回の復習のあとグループ学習に移り、生徒たちは非常に積極的に参加していました。良いタイミングでヒントを出すことにより、効果的に考察ができていました。

途中で代表者が発表する場面もありましたが、自分の言葉で適切に説明できていました。



⑦ 理科（化学基礎）

2年次生対象、化学基礎の授業で、「酸と塩基の定義と基本的性質」がテーマでした。

生徒は、前回の授業で行った実験結果をグラフにまとめることで、化学反応における物質量の関係性を読み取り論理的な考え方ができていたかを確認します。その後、グループでの話し合いを通じ、「物質の分類」と「水溶液の示す性質」の違いに気付かせ、酸や塩基の定義、及び基本的な性質について理解を深めました。

一目で見てわかるよう、よく練られた板書計画で、生徒もノートを取りながら学習内容を再確認していました。



⑧ 理科（地学基礎）

1年次対象の地学基礎の授業での「野外実習」でした。1年次の2クラスの生徒が本校を出発してすぐ裏にある竜の山に入り9箇所の観察ポイントにて、理科の先生から露頭より採取した岩石を見せてもらい観察・鑑定をしていました。

教室で教科書を通して学ぶのとは違って、現地にて本物を観察することにより新たな発見や驚きがあったようで、どの生徒も実に生き生きとした表情であったのが印象的でした。

理科の先生方が下見、準備等を完璧にされており、大変感銘を受けました。

